

# 福島の惨状忘れない

## さようなら原発1000万人アクション

# やめるべ、大間原発



10月1日から建設工事を再開した大間原子力発電所。函館から23kmしか離れていない=9月29日



全日本自治団体労働組合  
北海道本部  
〒060-0806 札幌市北区  
北6西7北海道自治労会館  
電話 011-747-3211  
FAX 011-700-2053  
編集・発行 谷川 広美

『大間原発』計画の経過

1982年 8月	新型転換炉実証炉計画決定
1984年12月	大間町議会が原子力発電所誘致決議
1995年 8月	全炉心にMOX燃料装荷可能な改良型沸騰水型軽水炉を決定
2003年 2月	電源開発用地買収断念。炉心建設予定地変更
2008年 4月	経済産業省が大間原子力発電所設置許可
2008年 5月	第1回工事計画認可(着工)
2008年11月	運転開始予定を2012年3月から2014年11月に延期
2010年 7月	青森県大間町、北海道函館市の市民グループが、設置設計取り消し・建設差し止め訴訟
2012年10月	建設工事再開
2013年12月	燃料装荷予定
2014年11月	運転開始予定(未定)

驚いた。大間原発のすぐ下に民家がある。海から発電所までの高さもあまりない。左の写真は9月29日に道南平和運動フォーラムと道南平和運動フォーラムが視察した時のもの。10月1日の建設工事再開2日前だ。クレーン車も設置さ

### 朝風

れ「さあ工事再開」と言わんばかりだ。もしもこれが動きだし、ひとたび事故が起きたら、そう考えるに恐ろしい。ここに住む人はどうやって逃げるのか。泊の防災訓練も心もなかつた。背筋が寒くなる。大間は夢だけにしよう。

世界で初のフルMOX燃料を使用する、危険な大間原子力(フルサーマル)発電所の建設中止を求め、11月3日、函館市千代台公園で、さようなら原発1000万人アクション北海道「やめるべ、大間原発!」11・3北海道集会が開かれ、約1400人が参加した。

さようなら原発1000万人アクション北海道の、小野有五さんは、日本は脱原発の方向を決めたが、建設再開を許した。まさにこれは倫理的問題で許せない。世界は3・11をきっかけに変わったが日本だけがかわっていない。北海道、函館から、日本の歴史を変えていきたい」と訴えた。

道南平和運動フォーラム・中村代表は「稼働する前なら苦しまなくてす



子どもたちを放射能から守ろう!と函館市内をデモ行進した

## どうする北海道原子力防災訓練 避難経路の矛盾、周知不十分

連合北海道は10月24日、北海道原子力防災訓練調査を実施し、石狩・後志地協を中心に49人が参加した(自治労25人)。調査団は23日に団会議を開き、調査区域と内容について意思統一し、防災訓練調査に臨んだ。

今年度の原子力防災訓練は、3・11の福島第一原発事故を教訓に、これまでの泊村、岩内町、共和町、神恵内村の4町村だけでなく、防災対策重点地域(UPZ圏、30km圏内)の後志管内13町村の

道南平和運動フォーラム・相澤弘司代表は、電力会社は「夢のエネルギー」、安全でクリーンで安い」と宣伝したが、もう騙されてはいけない」と呼びかけた。

逢坂衆議も駆けつけ「結論は一つ、大間を稼働させてはならない。恐ろしいのは忘却だ、福島惨状を心に刻み、粘り強く原子力ゼロ社会にむけ取り組もう。私も真正面から頑張る」と決意を述べあいさつした。

調査団は13町村に分かれ、自治体の広報活動や住民の避難状況などを調査するとともに、住民アンケートを行った。

小樽市と倶知安町に分かれて行った総括会議では、各町村の広報活動が不十分であることや、避難経路の矛盾、さらに、学校などへの周知の不十分さから、年間スケジュールが決まっている学校



避難場所「ルスツリゾート」のスクリーニング訓練=10月24日

では、十分な対応ができなかった」といった報告もあった。避難場所とさいわい」といった問題点が明らかになった。

は、スクリーニング訓練も実施されており、機材はメーカー担当者が運搬・設置を行っていた。有事に出勤となる契約が自治体と交わされていない」といった問題点が明らかになった。

## 2012 秋期闘争 11月21日(水)統一行動日

### 「退手見直し」先送り

### 人勧実施ありえない

2012賃金確定闘争は、各単組とも重点交渉期間に入っている。今年度の人事院勧告は、臨時特例法による減額の実態にあることや昨年の政府との交渉・合意の経過から、当然、人勧実施はありえない。政府判断は11月中旬下旬と想定されるため、各自治体単組では、山場段階で結論を出させない対応を進めている。仮に交渉期間中に見送るとした政府判断が出されれば、それを踏まえて同様な判断を当局に対して求めていく必要がある。

道本部は11月7日、道市町村課との交渉を実施し、こうした不透明な情勢を受けて、国人勧を地方面へ強制することがないよう強く申し入れていく。退職手当法の改正案は、年金払い退職給付制度の新設とセットで法案の閣議決定、臨時国会へ提出されたが、法案成立の動向は不安定な政権運営、国会情勢などから見通すことはできない状況だ。しかし、この段階で法律の成立が見込めないなら、地方公務員の退職手当措置については、2

013年1月からの退職者に適用させることは、事務処理や一定の周知期間を確保することなどを考慮すれば、事実上不可能な状況になりつつある。こうした状況をしっかりと自治体当局や道退手組合に認識させ、判断を求めていく必要がある。当面、署名行動に全力を上げながら、自治体から退手組合への要請行動を強力に進める必要がある。雇用と年金の接続では、再任用の義務化の議論を進める必要があり、単組の独自課題の解決も重要な課題である。21日の全道統一行動日を背景に交渉強化はかろう

### JICHIRO スケジュール

11月	
10日(出)	道本部青年部政治集会 (札幌市)
13日(火)	賃金確定闘争勝利全道総決起集会 (札幌市)
14日(水)	労福協第3回福祉講座 (札幌市)
15日(木)	地公三者副知事交渉
19日(月)	第5回執行委員会 (札幌市)
20日(火)	地公三者昼休み総決起集会 (札幌市)
21日(水)	秋期闘争道本部統一行動日

道本部ホームページ  
自治労北海道 ユーザー名:hokkaido  
組合員専用ページは パスワード:jichi2009

### 今年も 春闘アンケート

11/22からはじまります  
開始日は単組によってちがいます

道本部集約  
12月3日  
です

アンケート結果は、春闘討論集会、機関紙、ホームページで報告します。

ともにあいぐみ





# 人・まち・社会をつくる「コミュニティ」

## 第34年次 自治研全国集会

10月19日から21日まで、兵庫県神戸国際展示場で「第34年次地方自治研究全国集会」が開かれ、2000人(北海道42人)が参加した。

自治労本部・徳永委員長は、「東日本震災以降、初めて開かれる自治研が、17年前、同じく震災被害にあった神戸となつた。この2つの経験は、自治体職員をはじめ、すべての人々に地域コミュニティの重要性を改めて突きつけた。全国での自治研活動の取り組みを再認識する場にした」とあいさつした。

記念講演は、「コミュニティデザイナーの山崎亮さんが『まちの幸福論』コミュニティが、人を、まちを、社会をつくる」と題し、地域の課題を任

務人たちが自身が解決するユニークな手法を講演。パネルディスカッションは初日に『みんなが主役の地域のコミュニティ』最終日は『脱原発で新しい地域社会を作る』のテーマで行われた。



1日目の参加型のパネルディスカッションでコーディネータの質問に、参加者がYES・NOカードで意思表示をした=10月19日、神戸国際展示場

### 北海道は4人がレポート発表

2日目は、研究テーマごとの分科会で討議が行われ、全国から選出された369本の中から発表された。それをもとに、参加者同士が意見交換し、情報提供など積極的な討議が行われた。北海道として、当日発表した4人から報告してもらった。

「公正・公平で納得性のある行政運営」を行うためには、必要なツールとして認識を新たに、「できることからコツコツ」と積み上げ、条例を深化させて行く。また、レポート作成過程で、諦めか

が具体的に「どう変わったか」を報告した。4年前と現在のアンケートで職員の認知度は70%と変化はない。職員の実践状況について、各計画策定の報告をする。また、条例を無視した計画があるなどの葛藤を報告した。

「公正・公平で納得性のある行政運営」を行うためには、必要なツールとして認識を新たに、「できることからコツコツ」と積み上げ、条例を深化させて行く。また、レポート作成過程で、諦めか

た。最近では、職場組合員がどう感じているのかを把握していないこともあり、チャンネルのつもりでアンケート調査に取り組んだことや、広域性を生かし、各単組から普段あまり組合活動にかかわっていない青年層組合員に、参加してもらうことを目的としたこと。また、身近な問題について、机上の理論だけでなく、実

# 制限や制約の解消めざす



マスコミの一方的な誹謗中傷に惑わされずしっかり活動しようといささつする稲田代表=11月3日、自治労会館

## 道本部 障労連総会

道本部障害労働者連絡会(障労連)は11月3日、自治労会館で第22回総会を開き、6単組・35人が参加した。

稲田代表は、「障害者差別禁止法」が、雇用の促進のみならず、働きづけるための強力な武器になる。そのためには衆院選で、自治労に結集する私たちは、マスコミの一方的な誹謗中傷に惑わされることがなく、民主党政権だからできたこと、やれることをしっかり見極め、自民党政権に戻さない活動をしよう」とあいさつした。

記念講演は、自治労本部・西村社会福祉局長が「障害者差別禁止法の制定にむけて」と題し講演した。

西村局長は、「この法律は、差別した人を罰するのではなく、障害の有無にかかわらず、誰もがとにも暮らせる地域社会の実現を目的としたものであること。また、障害者が社会の一員として、雇用を含めさまざまな場面に参加できる社会は、活力ある社会づくりにつながる。また、障害者が受けてきたさまざまな制限や制約を解消するしくみと、そうした行為を起さないための人々の行為規範を示す法律である」と説明した。

「貧困社会における自治体の役割」と題し、釧路市における生活保護自立支援プログラムの取り組みについて発表した。

「被災地における女性の支援と保護」で、避

「公正・公平で納得性のある行政運営」を行うためには、必要なツールとして認識を新たに、「できることからコツコツ」と積み上げ、条例を深化させて行く。また、レポート作成過程で、諦めか

「公正・公平で納得性のある行政運営」を行うためには、必要なツールとして認識を新たに、「できることからコツコツ」と積み上げ、条例を深化させて行く。また、レポート作成過程で、諦めか

「公正・公平で納得性のある行政運営」を行うためには、必要なツールとして認識を新たに、「できることからコツコツ」と積み上げ、条例を深化させて行く。また、レポート作成過程で、諦めか

「公正・公平で納得性のある行政運営」を行うためには、必要なツールとして認識を新たに、「できることからコツコツ」と積み上げ、条例を深化させて行く。また、レポート作成過程で、諦めか

「公正・公平で納得性のある行政運営」を行うためには、必要なツールとして認識を新たに、「できることからコツコツ」と積み上げ、条例を深化させて行く。また、レポート作成過程で、諦めか

「公正・公平で納得性のある行政運営」を行うためには、必要なツールとして認識を新たに、「できることからコツコツ」と積み上げ、条例を深化させて行く。また、レポート作成過程で、諦めか

「公正・公平で納得性のある行政運営」を行うためには、必要なツールとして認識を新たに、「できることからコツコツ」と積み上げ、条例を深化させて行く。また、レポート作成過程で、諦めか

「公正・公平で納得性のある行政運営」を行うためには、必要なツールとして認識を新たに、「できることからコツコツ」と積み上げ、条例を深化させて行く。また、レポート作成過程で、諦めか

「公正・公平で納得性のある行政運営」を行うためには、必要なツールとして認識を新たに、「できることからコツコツ」と積み上げ、条例を深化させて行く。また、レポート作成過程で、諦めか

「公正・公平で納得性のある行政運営」を行うためには、必要なツールとして認識を新たに、「できることからコツコツ」と積み上げ、条例を深化させて行く。また、レポート作成過程で、諦めか

「公正・公平で納得性のある行政運営」を行うためには、必要なツールとして認識を新たに、「できることからコツコツ」と積み上げ、条例を深化させて行く。また、レポート作成過程で、諦めか

「公正・公平で納得性のある行政運営」を行うためには、必要なツールとして認識を新たに、「できることからコツコツ」と積み上げ、条例を深化させて行く。また、レポート作成過程で、諦めか

「公正・公平で納得性のある行政運営」を行うためには、必要なツールとして認識を新たに、「できることからコツコツ」と積み上げ、条例を深化させて行く。また、レポート作成過程で、諦めか

「公正・公平で納得性のある行政運営」を行うためには、必要なツールとして認識を新たに、「できることからコツコツ」と積み上げ、条例を深化させて行く。また、レポート作成過程で、諦めか

「公正・公平で納得性のある行政運営」を行うためには、必要なツールとして認識を新たに、「できることからコツコツ」と積み上げ、条例を深化させて行く。また、レポート作成過程で、諦めか

「公正・公平で納得性のある行政運営」を行うためには、必要なツールとして認識を新たに、「できることからコツコツ」と積み上げ、条例を深化させて行く。また、レポート作成過程で、諦めか

「公正・公平で納得性のある行政運営」を行うためには、必要なツールとして認識を新たに、「できることからコツコツ」と積み上げ、条例を深化させて行く。また、レポート作成過程で、諦めか

「公正・公平で納得性のある行政運営」を行うためには、必要なツールとして認識を新たに、「できることからコツコツ」と積み上げ、条例を深化させて行く。また、レポート作成過程で、諦めか

「公正・公平で納得性のある行政運営」を行うためには、必要なツールとして認識を新たに、「できることからコツコツ」と積み上げ、条例を深化させて行く。また、レポート作成過程で、諦めか

「公正・公平で納得性のある行政運営」を行うためには、必要なツールとして認識を新たに、「できることからコツコツ」と積み上げ、条例を深化させて行く。また、レポート作成過程で、諦めか

「公正・公平で納得性のある行政運営」を行うためには、必要なツールとして認識を新たに、「できることからコツコツ」と積み上げ、条例を深化させて行く。また、レポート作成過程で、諦めか

「公正・公平で納得性のある行政運営」を行うためには、必要なツールとして認識を新たに、「できることからコツコツ」と積み上げ、条例を深化させて行く。また、レポート作成過程で、諦めか

「公正・公平で納得性のある行政運営」を行うためには、必要なツールとして認識を新たに、「できることからコツコツ」と積み上げ、条例を深化させて行く。また、レポート作成過程で、諦めか

「公正・公平で納得性のある行政運営」を行うためには、必要なツールとして認識を新たに、「できることからコツコツ」と積み上げ、条例を深化させて行く。また、レポート作成過程で、諦めか

「公正・公平で納得性のある行政運営」を行うためには、必要なツールとして認識を新たに、「できることからコツコツ」と積み上げ、条例を深化させて行く。また、レポート作成過程で、諦めか

「公正・公平で納得性のある行政運営」を行うためには、必要なツールとして認識を新たに、「できることからコツコツ」と積み上げ、条例を深化させて行く。また、レポート作成過程で、諦めか

「公正・公平で納得性のある行政運営」を行うためには、必要なツールとして認識を新たに、「できることからコツコツ」と積み上げ、条例を深化させて行く。また、レポート作成過程で、諦めか

「公正・公平で納得性のある行政運営」を行うためには、必要なツールとして認識を新たに、「できることからコツコツ」と積み上げ、条例を深化させて行く。また、レポート作成過程で、諦めか

「公正・公平で納得性のある行政運営」を行うためには、必要なツールとして認識を新たに、「できることからコツコツ」と積み上げ、条例を深化させて行く。また、レポート作成過程で、諦めか

「公正・公平で納得性のある行政運営」を行うためには、必要なツールとして認識を新たに、「できることからコツコツ」と積み上げ、条例を深化させて行く。また、レポート作成過程で、諦めか

「公正・公平で納得性のある行政運営」を行うためには、必要なツールとして認識を新たに、「できることからコツコツ」と積み上げ、条例を深化させて行く。また、レポート作成過程で、諦めか

「公正・公平で納得性のある行政運営」を行うためには、必要なツールとして認識を新たに、「できることからコツコツ」と積み上げ、条例を深化させて行く。また、レポート作成過程で、諦めか

「公正・公平で納得性のある行政運営」を行うためには、必要なツールとして認識を新たに、「できることからコツコツ」と積み上げ、条例を深化させて行く。また、レポート作成過程で、諦めか

「公正・公平で納得性のある行政運営」を行うためには、必要なツールとして認識を新たに、「できることからコツコツ」と積み上げ、条例を深化させて行く。また、レポート作成過程で、諦めか

「公正・公平で納得性のある行政運営」を行うためには、必要なツールとして認識を新たに、「できることからコツコツ」と積み上げ、条例を深化させて行く。また、レポート作成過程で、諦めか

「公正・公平で納得性のある行政運営」を行うためには、必要なツールとして認識を新たに、「できることからコツコツ」と積み上げ、条例を深化させて行く。また、レポート作成過程で、諦めか

「公正・公平で納得性のある行政運営」を行うためには、必要なツールとして認識を新たに、「できることからコツコツ」と積み上げ、条例を深化させて行く。また、レポート作成過程で、諦めか

「公正・公平で納得性のある行政運営」を行うためには、必要なツールとして認識を新たに、「できることからコツコツ」と積み上げ、条例を深化させて行く。また、レポート作成過程で、諦めか

「公正・公平で納得性のある行政運営」を行うためには、必要なツールとして認識を新たに、「できることからコツコツ」と積み上げ、条例を深化させて行く。また、レポート作成過程で、諦めか

「公正・公平で納得性のある行政運営」を行うためには、必要なツールとして認識を新たに、「できることからコツコツ」と積み上げ、条例を深化させて行く。また、レポート作成過程で、諦めか

「公正・公平で納得性のある行政運営」を行うためには、必要なツールとして認識を新たに、「できることからコツコツ」と積み上げ、条例を深化させて行く。また、レポート作成過程で、諦めか

「公正・公平で納得性のある行政運営」を行うためには、必要なツールとして認識を新たに、「できることからコツコツ」と積み上げ、条例を深化させて行く。また、レポート作成過程で、諦めか

「公正・公平で納得性のある行政運営」を行うためには、必要なツールとして認識を新たに、「できることからコツコツ」と積み上げ、条例を深化させて行く。また、レポート作成過程で、諦めか

「公正・公平で納得性のある行政運営」を行うためには、必要なツールとして認識を新たに、「できることからコツコツ」と積み上げ、条例を深化させて行く。また、レポート作成過程で、諦めか